

## 平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年7月7日

上場会社名 株式会社メディアドゥ 上場取引所 東  
 コード番号 3678 URL http://mediado.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 恭嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 克征 TEL 03-6212-5111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第1四半期の業績（平成28年3月1日～平成28年5月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	3,410	33.3	193	57.9	193	57.9	120	59.4
28年2月期第1四半期	2,558	47.5	122	69.5	122	68.7	75	95.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	12.16	12.09
28年2月期第1四半期	7.82	7.72

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第1四半期	5,828	2,322	39.2	229.74
28年2月期	5,485	2,238	40.7	224.78

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 2,283百万円 28年2月期 2,234百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	7.20	7.20
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	8.80	8.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年2月期の業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	33.4	700	26.8	700	26.5	434	29.6	43.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期1Q	9,938,800株	28年2月期	9,938,800株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	－株	28年2月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期1Q	9,938,800株	28年2月期1Q	9,703,095株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成28年7月12日に機関投資家向け、アナリスト向け決算説明会を開催いたします。

説明会資料は、説明会終了後TDnetにて開示予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(持分法投資損益等)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、「ひとつでも多くのコンテンツをひとりでも多くの人に届けること」をキーワードに著作物を公正利用のもと、出来るだけ広く頒布し著作者に収益を還元するという「著作物の健全なる創造サイクルの実現」を事業理念として掲げ、日本における文化の発展及び豊かな社会の実現を目指しております。

当社を取り巻く事業環境について、主力事業領域である電子書籍市場の規模は、平成26年度において1,266億円と推計され、前年度の936億円から330億円増加しています。また、電子雑誌市場は145億円、電子書籍と電子雑誌を合わせた電子出版市場は1,411億円と推測されております。電子出版市場は今後も拡大が見込まれ、平成31年には電子書籍市場2,890億円に電子雑誌市場510億円を合わせ、3,400億円程度になると予想されています。

(出所：インプレス総合研究所『電子書籍ビジネス調査報告書2015』)

このような事業環境の下、主力事業である電子書籍事業において、「国内事業拡大」、「海外流通展開」、「電子図書館展開」を成長戦略とし、積極的な業容拡大に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間においては、具体的に次の施策展開を進めております。「国内事業拡大」においては、新しいアライアンス先との事業展開の開始、「海外流通展開」においては、海外流通事業を推進するため、営業部門を組織変更し、海外拠点設立のための基盤整備を行いました。「電子図書館展開」においては、国内の国立大学への初のシステム提供として福井大学へ電子図書館システムの提供を開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,410,256千円(前年同期比33.3%増)、経常利益は193,237千円(前年同期比57.9%増)、四半期純利益は120,936千円(前年同期比59.4%増)となりました。

なお、当第1四半期累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (電子書籍事業)

電子書籍事業につきましては、前期に引き続き「LINEマンガ」をはじめとした大型電子書店へのディストリビューションが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期と比較して大幅に増加しております。

アライアンス展開においても、楽天株式会社がサービスを開始したスマートフォン向け電子コミックに特化したサービス「楽天マンガ」に対し、電子書店に必要なシステム並びにコミックの電子書籍コンテンツの提供を開始し、協同事業としてサポートをしております。また、株式会社リーガルアーカイブスが運営を開始した、判例・論文をダウンロードして分類・整理、ファイリングしオリジナルデータベースを構築できる配信サービス「リーガルアーカイブス」へ配信ソリューションし、事業展開パートナーとしてサポートしております。

その結果、売上高は3,205,520千円(前年同期比34.8%増)、セグメント利益は185,402千円(前年同期比84.4%増)となりました。

#### (音楽・映像事業)

音楽・映像事業につきましては、音楽配信サービスをスマートフォン向け及びフィーチャーフォン向けに提供してまいりましたが、モバイル有料音楽配信市場全体の縮小により売上は減少しております。

その結果、売上高は82,554千円(前年同期比21.7%減)、セグメント利益は12,454千円(前年同期比18.5%減)となりました。

#### (ゲーム事業)

ゲーム事業につきましては、ソーシャルゲーム市場の競争激化により、売上は減少しております。

その結果、売上高は9,611千円(前年同期比46.7%減)、セグメント利益は1,183千円(前年同期比14.0%減)となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、ニュース・情報系携帯電話サイト運営代行及び広告代理コンサルティング業務に引き続き注力し、取扱量が増加したことにより売上が拡大しました。

その結果、売上高は112,570千円(前年同期比95.8%増)、セグメント損失は6,003千円(前年同期はセグメント利益5,078千円)となりました。

(2) 財務状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は、5,828,710千円となり前事業年度末と比べ342,962千円増加しました。

流動資産は前事業年度末と比べ296,893千円増加し、5,088,376千円となりました。

主な要因は、売上高増加に伴い売掛金が222,574千円増加したこと、現金及び預金が42,860千円、前払費用が30,802千円増加する一方で、繰延税金資産が3,705千円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末と比べ46,068千円増加し、740,333千円となりました。

主な要因は、本社移転に伴う差入保証金が41,012千円、長期前払費用が8,048千円増加した一方で、繰延税金資産が2,004千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は3,506,108千円となり前事業年度末と比べ258,766千円増加しました。

流動負債は、前事業年度末と比べ258,765千円増加し、3,505,428千円となりました。

主な要因は、売上増加に伴う売上原価増加によって買掛金が300,610千円増加する一方で、未払法人税等が64,012千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,322,601千円となり、前事業年度末と比べ84,196千円増加しました。その主たる要因は、四半期純利益の計上により120,936千円増加、新株予約権の発行により34,818千円増加した一方で、配当により71,559千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年4月7日に公表いたしました平成29年2月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,324,834	2,367,694
売掛金	2,401,315	2,623,890
商品	0	0
貯蔵品	570	557
前払費用	38,729	69,532
繰延税金資産	31,513	27,808
その他	4,966	8,569
貸倒引当金	△10,447	△9,675
流動資産合計	4,791,483	5,088,376
固定資産		
有形固定資産		
建物	58,903	58,903
減価償却累計額	△28,116	△43,857
建物(純額)	30,786	15,045
車両運搬具	—	3,000
減価償却累計額	—	△375
車両運搬具(純額)	—	2,625
工具、器具及び備品	351,362	375,535
減価償却累計額	△227,161	△237,135
工具、器具及び備品(純額)	124,200	138,400
建設仮勘定	1,999	—
有形固定資産合計	156,987	156,071
無形固定資産		
ソフトウェア	141,341	157,575
ソフトウェア仮勘定	31,681	22,991
コンテンツ	22,476	14,873
その他	755	744
無形固定資産合計	196,254	196,184
投資その他の資産		
投資有価証券	32,500	32,500
関係会社株式	72,000	72,000
長期貸付金	15,000	15,000
長期前払費用	2,930	10,978
繰延税金資産	67,933	65,928
差入保証金	150,657	191,669
投資その他の資産合計	341,021	388,077
固定資産合計	694,264	740,333
資産合計	5,485,747	5,828,710

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,889,818	3,190,428
未払金	133,383	125,541
未払費用	977	10,313
未払法人税等	129,880	65,868
未払消費税等	25,898	36,406
預り金	4,389	12,786
資産除去債務	13,597	13,597
ポイント引当金	44,159	48,714
その他	4,559	1,771
流動負債合計	3,246,663	3,505,428
固定負債		
資産除去債務	678	679
固定負債合計	678	679
負債合計	3,247,342	3,506,108
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	896,969	896,969
資本剰余金	600,616	600,616
利益剰余金	736,452	785,829
株主資本合計	2,234,038	2,283,416
新株予約権	4,366	39,185
純資産合計	2,238,405	2,322,601
負債純資産合計	5,485,747	5,828,710

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	2,558,984	3,410,256
売上原価	2,245,710	2,999,640
売上総利益	313,274	410,616
販売費及び一般管理費	190,987	217,579
営業利益	122,286	193,036
営業外収益		
受取利息	238	153
為替差益	10	167
その他	35	159
営業外収益合計	284	480
営業外費用		
株式交付費	211	280
営業外費用合計	211	280
経常利益	122,360	193,237
税引前四半期純利益	122,360	193,237
法人税、住民税及び事業税	35,666	66,591
法人税等調整額	10,812	5,709
法人税等合計	46,479	72,300
四半期純利益	75,880	120,936



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月29日に国会で成立し、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることになりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成29年3月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.9%に、平成30年3月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については30.6%になります。

この変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は3,833千円減少し、法人税等調整額が同額増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

前第1四半期累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

関連会社が1社ありますが、損益等から見て重要性が乏しいため、記載しておりません。

当第1四半期累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

関連会社が1社ありますが、損益等から見て重要性が乏しいため、記載しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期 損益計算書 計上額 (注)
	電子書籍 事業	音楽・映像 事業	ゲーム 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,377,985	105,500	18,018	57,481	2,558,984	—	2,558,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,377,985	105,500	18,018	57,481	2,558,984	—	2,558,984
セグメント利益	100,543	15,289	1,375	5,078	122,286	—	122,286

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期 損益計算書 計上額 (注)
	電子書籍 事業	音楽・映像 事業	ゲーム 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,205,520	82,554	9,611	112,570	3,410,256	—	3,410,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,205,520	82,554	9,611	112,570	3,410,256	—	3,410,256
セグメント利益又は損失 (△)	185,402	12,454	1,183	△6,003	193,036	—	193,036

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。